

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	
科目名	社会人基礎力講座
科目区分	非常勤
科目群	教養
担当講師	相原 芳美
履修区分	必修
開講学年	1年
開講学期	後期
単位数	2
授業形態	講義
教科書	使用しない
参考書	レジュメ・ワークシート
成績評価	提出課題 60% 課題内容 30% まとめテスト 20%

1. 授業概要

振り返りやグループワークを通して、就職に対する意識を高め、就職活動に向けての準備をする。会社の仕組みや企業が求める人材について理解する。

2. 到達目標

マナーやコミュニケーションなどの基礎的な社会性（社会人基礎力）を身に付けることができる。

3. 授業計画

後期	
1	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
2	社会人に必要なマナーの理解（挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS利用のマナー）
3	コミュニケーション力向上ワークショップ
4	「チームワーク」向上のワークショップ
5	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
6	「考え抜く力」向上のワークショップ
7	まとめテスト
8	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 I
9	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 II
10	「自己理解」のためのワークショップ①（価値分析・モチベーション）
11	「自己理解」のためのワークショップ②（好きなこと・得意なこと）
12	「自己理解」のためのワークショップ③（社会人基礎力の再評価・自己PR）
13	まとめテスト
14	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え
15	面接練習・まとめテスト

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

学 科 名 TVディレクター学科

科目番号	102	科 目 名	コミュニケーションスキル		科目区分		
科 目 群	教養	担当講師	高梨 由		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教科書	なし			教材・参考書 講師作成のレジュメ			
成績評価	前期試験（筆記 30%、実技 30%）、出席回数 30%、平常点や授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

コミュニケーションスキルの向上と、効果的な「自己演出力」を身に付ける。

2. 到達目標

卒業後、現場に必要なコミュニケーション技術を身に付け、プレゼンやスピーチ、ディスカッション等が必要なケースでも自分なりの発信が出来るようになる

3. 授業計画

前期	
1	講義の主旨説明と導入・事前準備
2	情報収集力…その必要性と方法 敬語①5種類の説明
3	発想力①…発想力とは？その磨き方 敬語②尊敬語
4	発想力②…発症力のトレーニング（実践） 敬語③謙譲語
5	漫才演習 漫才体験（ネタ作り、グループ練習）
6	漫才発表
7	創造力①…創造力とは？ 敬語④丁寧語
8	特別講義①（役者を招いて表現の実演）
9	表現力①…表現方法の理論的理解→実際にやってみる 敬語⑤美化語
10	創造力②…オリジナル脚本を書いてみる 敬語⑥予備
11	表現力②…オリジナル脚本で表現してみる
12	特別講義②（役者を招いて、オリジナル脚本の実演 ※学生がそれを演出）
13	スピーチ（またはプレゼン）演習 やり方を説明→実践→修正
14	グループディスカッション演習 やり方を説明→実践→修正
15	前期総まとめ…整理して理解する

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

学 科 名 TVディレクター学科

科目番号	103	科 目 名	ビジネス PC スキル I		科目区分		
科 目 群	教養	担当講師	竹内 迪雄		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	Office2016(実教出版)		教材・参考書 なし				
成績評価	期末試験 60%、課題提出 40%						

1. 授業概要

ビジネスに利用するワープロ (Word)、プレゼンテーション (Powerpoint)、表計算 (Excel) を習得する。

2. 到達目標

Office 系のアプリケーションが連携して利用できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス、ユーザーパスワードの変更、コンピュータ・システムの概要
2	Word 起動と終了、IME2010 の活用、文章の入力練習(練習11)、ファイルの保存
3	ページ設定、印刷書設定、移動とコピー(リボンの利用)、マウスのショートカットキーの利用、ヘッダーの設定
4	文書の作成、入力オートフォーマット設定、右揃え左揃え、センタリング、文字の拡大縮小、フォントの詳細
5	表の作成、表の文字入力、調整、表の編集
6	画像の活用(ワードアート、クリップアート、図形の利用)、ページ罫線
7	段組み、ドロップキャップの利用、図形の文字入力
8	スクリーンショット、図形のグループ化
9	スマートアート、web 上の画像の取り扱い
10	PowerPoint の起動と終了、プレゼンテーションの作成、文字修飾とワードアート、アニメーション効果、SmartArt の活用
11	画面構成、作業ウィンドウ、プレゼンテーション作成、ファイルの保存と読み込み
12	図形と図の活用、グラフの活用、図形機能の応用、その他の機能(背景画像の設定、テーマの変更、マスターの変更)
13	お菓子の CM 作成(目標:スライド10枚前後)
14	CM スライドのアニメーション化、自動実行等の設定
15	PowerPoint ファイルの提出、WMV 形式ファイルの提出、6スライド(縦)の印刷提出
後期	
1	Excel 起動と終了、表計算ソフトとは、データ入力の基礎、基本的なワークシート編集
2	関数の利用(SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT、COUNTA)パーセントスタイル、罫線
3	行の挿入、グラフ(作成、項目の追加、離れたデータを使ったグラフ)
4	IF 関数による条件判定、IF 関数の使い方、複合条件による判定
5	IF 関数の練習、演習
6	セルの参照と順位付け(相対参照と絶対参照)
7	関数を利用した検索(VLOOKUP、HLOOKUP)
8	条件に一致するセルの計算(COUNTIF、COUNTIFS、SUMIF、SUMIFS、AVERAGEIF、AVERAGEIFS)
9	セルの参照機能、セルの連結、セルの条件付き書式、スパークライン
10	並べ替え(ソート)、ソートの考え方
11	フィルター、セルの結合
12	Web ページを活用した表の作成、Word と Excel の活用
13	シート間の計算(単純な3-D 集計、統合による3-D 集計)、複数シートの操作
14	データベース関数の利用(DSUM、DAVERAGE、DMAX、DMIN、DCOUNT 等)
15	データの集計(クロス集計)、ピボットグラフの作成

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	104	科 目 名	ビジネス PC スキルⅡ		科目区分		
科 目 群	専門	担当講師	竹内 迪雄		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	Excel2013(実教出版)		教材・参考書 なし				
成績評価	中間試験 35%、期末試験 35%、課題提出 30%						

1. 授業概要

表計算 (Excel) を演習を通して高度に習得する。

2. 到達目標

表計算 (Excel) が高度に利用できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	授業の進め方、課題提出方法の説明、サーバーの提出フォルダーの確認
2	基本的な表作成1(数式とオートSUM、セル参照と数式)の演習
3	基本的な表作成2(連続データ)の演習
4	基本的な表作成3(平均、最大、最小)の演習
5	絶対参照1(構成比、定数としての利用、)の演習
6	絶対参照2(相対参照と絶対参照)の演習
7	絶対参照3(絶対参照、複合参照)の演習
8	基本的な関数1(最大、最小、条件にもとづく処理、数える)の演習
9	基本的な関数2(論理関数)の演習
10	基本的な関数3(端数処理)の演習
11	グラフ1(円、折れ線)の演習
12	グラフ2(縦棒、積み上げ縦棒)の演習
13	シート分析と入力規則1(条件付き書式)の演習
14	シート分析と入力規則2(ユーザー定義の表示形式と入力規則)の演習
15	中間試験
後期	
1	中間試験問題の解説及び試験の再提出
2	データベース1(テーブル、並べ替え)の演習
3	データベース2(集計方法、データの更新)の演習
4	データベース3(データ詳細の表示、データ参照と集計用の表作成)の演習
5	データベース4(並べ替え、フィルタ)の演習
6	データベース5(グループ別集計)の演習
7	関数の活用1(順位、別表を検索して参照)の演習
8	関数の活用2(条件処理と検索参照)の演習
9	関数の活用3(切り捨てと剰余)の演習
10	関数の活用4(条件で集計)の演習
11	関数の活用4(時間の計算)の演習
12	関数の活用5(日付の管理)の演習
13	マルチワークシート1(作業グループ、3D集計)の演習
14	マルチワークシート2(シート間データの利用、達成率)の演習
15	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	105	科 目 名	時事問題研究 I		科目区分	実務経験教員	
科 目 群	教養	担当講師	読売新聞社東京本社教育ネットワーク		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書 当日の読売新聞朝刊			
成績評価	出席状況および前期後期の筆記試験						

1. 授業概要

読売新聞の新聞記者が毎週、日本や世界の政治、経済、社会、国際、文化、生活、科学など各分野の過去から最近の動きについて、分かりやすく解説してゆく。さらにどうやって新聞を読む習慣をつけるか、どうやって読んだ記事から知識を身に付けるか、記事のような文章を書くポイントは何か、などについても指導してゆく。授業の初めには、当日の読売新聞に載っている最新のニュースについての解説もしていく。

2. 到達目標

新聞を読まなくなってきた若者たちに、授業を通して、政治や経済、文化などのさまざまなトピックスに触れてもらうことで、社会の仕組みや基本的な時事用語を理解し、自分のまわりだけではなく広い世界や世の中の出来事に関心を持てるようにする。卒業後、マスコミ人の一人として恥ずかしくない、最低限の世の中で今起きている時事問題についての知識を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス 戦後経済史①
2	メディアリテラシー・ニュースの選び方
3	スポーツ報道の舞台裏
4	参院選のABC
5	緊迫の東アジア！自分の身を守る①
6	緊迫の東アジア！自分の身を守る②
7	改元 平成から令和へ
8	戦後経済史②
9	新聞社のメディア戦略
10	新聞は嘘つきか
11	広告は社会の鏡
12	戦後経済史③
13	アベノミクスの仕組み
14	戦後経済史④
15	戦後経済史⑤
後期	
1	2019年上期の主なニュース解説
2	心に残る一枚の写真
3	新聞でテレビ番組の企画案を作ってみよう
4	新聞が出来るまで
5	歴史を学ぼう
6	新聞の読み方
7	貿易摩擦は何故起きるのか？
8	科学で読む社会
9	今年の国内重大ニュース

1 0	今年の国際重大ニュース
1 1	就活の重要ポイント
1 2	人権を守ろう
1 3	企業は性悪か
1 4	社説で小論文を作ろう
1 5	まとめ

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	106	科 目 名	時事問題研究Ⅱ		科目区分	実務経験教員	
科 目 群	教養	担当講師	読売新聞社東京本社教育ネットワーク		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書 当日の読売新聞朝刊			
成績評価	出席状況および前期後期の筆記試験						

1. 授業概要

読売新聞の新聞記者が毎週、日本や世界の政治、経済、社会、国際、文化、生活、科学など各分野の過去から最近の動きについて、分かりやすく解説してゆく。さらにどうやって新聞を読む習慣をつけるか、どうやって読んだ記事から知識を身に付けるか、記事のような文章を書くポイントは何か、などについても指導してゆく。授業の初めには、当日の読売新聞に載っている最新のニュースについての解説もしていく。

2. 到達目標

新聞を読まなくなってきた若者たちに、授業を通して、政治や経済、文化などのさまざまなトピックスに触れてもらうことで、社会の仕組みや基本的な時事用語を理解し、自分のまわりだけではなく広い世界や世の中の出来事に関心を持てるようにする。卒業後、マスコミ人の一人として恥ずかしくない、最低限の世の中で今起きている時事問題についての知識を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス 戦後経済史①
2	メディアリテラシー・ニュースの選び方
3	スポーツ報道の舞台裏
4	参院選のABC
5	緊迫の東アジア！自分の身を守る①
6	緊迫の東アジア！自分の身を守る②
7	改元 平成から令和へ
8	戦後経済史②
9	新聞社のメディア戦略
10	新聞は嘘つきか
11	広告は社会の鏡
12	戦後経済史③
13	アベノミクスの仕組み
14	戦後経済史④
15	戦後経済史⑤
後期	
1	2019年上期の主なニュース解説
2	心に残る一枚の写真
3	新聞でテレビ番組の企画案を作ってみよう
4	新聞が出来るまで
5	歴史を学ぼう
6	新聞の読み方
7	貿易摩擦は何故起きるのか？
8	科学で読む社会
9	今年の国内重大ニュース

1 0	今年の国際重大ニュース
1 1	就活の重要ポイント
1 2	人権を守ろう
1 3	企業は性悪か
1 4	社説で小論文を作ろう
1 5	まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

学 科 名

科目番号	107	科目名	一般教養講座			科目区分	専任・兼任
科目群	一般教育	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2次方程式の活用	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次関数	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 $y = a \times 2$	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2次方程式の解き方	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2次方程式の利用	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数 $y = a \times 2$ ・グラフ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学科名		
科目番号	108	科目名	海外研修		科目区分		
科目群	教養	担当講師	校長		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 100%						

1. 授業概要

年度末の3月に海外へ10日間の語学研修を実施

2. 到達目標

知識見聞を広め、グローバル社会を理解する。

3. 授業計画

後期	
1	<p>【研修内容】 前年度実績 変更有</p> <p>渡航予定地 オーストラリア アデレード</p> <p>研修先 ENGLISH COLLEGE OF ADELAIDE</p> <p>語学研修時間 9:00~16:00 6時間×5日間 のべ30時間</p> <p>宿泊 9日間 ホストファミリー宅</p> <p>単位認定に係わる認定時間 語学研修30時間 文化交流90時間 120時間</p> <p>学校としての成績評価 評価は報告書内容による</p> <p>学校としての単位認定基準 帰国後3週間以内に報告を提出した者 認定単位2単位</p>

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学科名		
科目番号	0109	科目名	日本語講座		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	講義	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	選択必修
教科書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。
--

3. 授業計画

前期	
1	漢字・語彙・文法（1.自動詞・他動詞／1.助詞①）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.複合動詞①／2.助詞②）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.複合動詞②／3.接続表現①）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.する動詞／4.接続表現②）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.い形容詞／6.文末表現）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.な形容詞／7.敬語①尊敬語）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.対義語①／8.敬語②謙譲語）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.副詞／10.敬語④）、読解問題
12	漢字・語彙・文法（11.擬音語・擬態語／JLPT 対策問題）
13	漢字・語彙・文法（12.カタカナ語①／JLPT 対策問題）
14	漢字・語彙・文法（13.カタカナ語②／JLPT 対策問題）
15	期末テスト
後期	
1	漢字・語彙・文法（1.漢字読み・表記／1.文の文法1）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.漢字読み・表記／2.文の文法1）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法2）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法2）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法3）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法3）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、読解問題
12	総合問題
13	総合問題
14	総合問題
15	期末テスト

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」				学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	201	科 目 名	番組制作実習 I	科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	小山 啓	履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	6
教 科 書				授業形態	講義
成績評価	平常点や授業への貢献度 50%、作品の評価 50%				

1. 授業概要

生徒自身が番組制作の作業をして学ぶ。企画からリサーチ、構成、撮影、編集などすべて体験する。

2. 到達目標

番組制作の基礎の考え方や技能を、習得する。

3. 授業計画

前期	
開講せず	
後期	
1	取材体験①写真でニュースリポート
2	取材体験②（カメラあり）学校内
3	取材体験③（カメラあり）学校内
4	学園祭取材計画
5	学園祭を取材しよう！
6	企画「私たちの学校。こんなところ。」
7	リサーチ・ロケ準備
8	VTR ロケ
9	VTR ロケ・構成(スタジオ+V)
10	スタジオ準備・VTR 編集・追加ロケ
11	スタジオ準備・VTR 編集
12	スタジオ・仕込み・収録準備
13	スタジオ・ドライリハーサル
14	スタジオ収録
15	ふりかえり

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	202	科 目 名	制作技術講座		科目区分	実務教員	
科 目 群	専門	担当講師	柳澤晃司（日テレテクニカルリソース）・高橋栄樹・前田信夫		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック		教材・参考書				
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

機材の取り扱いと使用法を習得し、着実に作品作りができるよう育てる。この授業では教員の実務経験が活かされ、日本テレビの制作技術部、報道局映像取材部の映像取材カメラマンとしての長年の実務経験をもとに、ENGのロケ技術を教授する。

2. 到達目標

ディレクター業務と取材ロケ技術業務を両立させることで広い視野を持ったテレビマンの卵を輩出する。

3. 授業計画

前期	
1	【基礎学習・基礎知識Ⅰ】講義の趣旨説明 機材（カメラ及び三脚）の構造と取り扱い方
2	【基礎学習・基礎知識Ⅱ】機材（カメラ及び三脚）の構造と取り扱い方の復習及び実習
3	【基礎学習・映像ルール】撮影基礎の座学講義
4	【撮影①・人物Ⅰ】人物を撮影する際の基本ルール（サイズやカメラポジション）の実習
5	【撮影②・人物Ⅱ】人物を撮影する際の基本ルール（サイズやカメラポジション）の実習
6	【基礎学習・照明】様々な照明機器（タングステン照明・LED照明）の効果説明及び実習
7	【撮影③・照明Ⅰ】照明を使用しての人物撮影実習
8	【撮影④・照明Ⅱ】照明を使用しての商品撮影手法実習
9	【基礎学習・音声】様々な音声機器（ガンマイク・ワイヤレスマイク）の説明及び実習
10	【撮影⑤・総合演習Ⅰ】全ての要素を含んだ総合的なテーマ別実践撮影実習
11	【撮影⑥・総合演習Ⅱ】全ての要素を含んだ総合的なテーマ別実践撮影実習
12	【総合学習・復習】夏季休暇前における各種機材の取り扱い方及び撮影手法の総復習
13	【試験対策】夏季休暇後における各種機材の取り扱い方及び撮影手法の総復習
14	【期末試験①】撮影の手順を一人で行う実技試験及び筆記試験
15	【期末試験②】撮影の手順を一人で行う実技試験及び筆記試験

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

学 科 名 TVディレクター学科

科目番号	203	科 目 名	制作美術講座		科目区分	専門	
科 目 群	専門	担当講師	浜野 璋彦		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教科書	なし			教材・参考書 必要時に講師作成のプリントを配布			
成績評価	レポート 50%、授業への意欲・発想力 50%						

1. 授業概要

「美術」を理解することで、深みと厚みのある制作スタッフとしての力をみにつける。

2. 到達目標

番組制作での「美術」の役割を理解し、さまざまな番組に対応できる適応力を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス「こんな授業をこんな先生がします」
2	各自が「目標設定」をし、それを発表する。
3	「テレビ」ってなに？ テレビ局の商売はなに？
4	制作、技術、そして美術の関係を理解する。
5	美術スタッフの役割。 在京、全国の美術スタッフの現状を知る。
6	美術の仕事の流れを理解し、制作スタッフとしての対応を知る。
7	セットの中の大道具と小道具の配置を考える①
8	セットの中の大道具と小道具の配置を考える②
9	スタジオ見学（スタジオを美術側から理解する）
10	文章を読んで映像をイメージし、それを「絵」で表現する①
11	文章を読んで映像をイメージし、それを「絵」で表現する②
12	テロップ、フリップの発注の方法を知る。
13	CGを知る。
14	照明を知り、照明の役割を理解する。
15	美術における安全管理、著作権とセットデザインを理解する。

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学科名	TVディレクター学科	
科目番号	204	科目名	放送技術概論		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	水落清治		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	なし			参考書	講師作成のレジュメ		
成績評価	試験 80%、平常点 20%						

1. 授業概要

映像を扱う上で必要な知識として、映像機器とその各種記録媒体やインターフェース、動画ファイルの種類を理解する

2. 到達目標

カメラ操作に必要な基本原理と応用知識ならびに撮影時に必要な記録媒体フォーマットを理解し、適切な用意と動画作成が出来る

3. 授業計画

前期	
1	放送概論ガイダンス。
2	動画の原理、テレビジョンの基本原理。
3	走査線の概念と同期信号。
4	光と色彩の知識、色温度について。
5	色の3原色と3属性について
6	レンズの基礎
7	レンズの知識(絞り)。
8	レンズの知識(被写界深度)。
9	カメラ内での信号処理について (撮像素子、ガンマ)。
10	カメラ内での信号処理について (ホワイトバランス、ニー、ホワイトクリップ、ディテール)。
11	映像信号の基礎。
12	世界各地の放送規格について
13	コンポーネント信号、コンポジット信号について
14	SD信号とHD信号の特徴について
15	前期放送概論レビュー。
後期	
1	記録メディアの種類について
2	記録メディアと記憶容量①
3	記録メディアと記憶容量②
4	インターフェースの種類と性能①
5	インターフェースの種類と性能②
6	動画フォーマット①
7	動画フォーマット②
8	動画編集で用いるフォーマットと変換
9	カメラの設定と記録フォーマットの種類
10	デジタル画像と解像度、記憶容量と圧縮コーデックについて
11	光記録メディア CD、DVD
12	光記録メディア BD
13	著作権保護機能
14	総復習と次世代記録メディア

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」				学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	205	科 目 名	撮影技術講座 I	科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	加藤 大橋	履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	4
教 科 書	映像制作ハンドブック		教材・参考書 必要時に講師作成のレジュメ配布		
成績評価	筆記試験・実技試験				

1. 授業概要

制作カメラとしての撮影技術を身に着ける

2. 到達目標

カメラ技術の基本を身に着け、一人でも街録程度の収録には対応できるスキルを身に着ける

3. 授業計画

後期	
1	カメラ機材の説明（カメラ、三脚、音声機材、照明機材等）
2	カメラ操作の基礎（電源の入れ方、三脚の扱い方）
3	カメラ操作の基礎（ファーストカットを撮影するまでの手順）
4	撮影技術基礎（サイズの説明、アイリス、フォーカスの操作）
5	撮影技術基礎（ズーム練習、サイズの重要性）
6	撮影実習（インタビュー）
7	撮影実習（テーマ撮影）
8	撮影知識（三点照明、バッテリーライト、フィルターワーク）
9	撮影知識（物撮り、接写）
10	撮影実習（一般の方へのインタビュー）
11	撮影実習（模擬記者会見）
12	撮影実習（ハンディによる移動撮影技術）
13	実技試験・筆記試験対策（ファーストカットの撮影まで）
14	実技試験・筆記試験対策（ファーストカットの撮影まで）
15	実技試験・筆記試験対策（ファーストカットの撮影まで）

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」				学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	206	科 目 名	テレビ音声 1	科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春	履修区分	必修
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4
教 科 書	なし		教材・参考書 無し		
成績評価	期末試験 70% 出席率 30% 授業の理解度により加味あり				

1. 授業概要

テレビ放送における音声部門の機材の扱い方や仕事内容を習得する。

2. 到達目標

音声機材の扱い方を習得する。音声の仕事内容を理解する。

3. 授業計画

前期	
1	テレビ放送に於ける音声とは
2	プロの音声としての心構え
3	音声レベルとは
4	マイクロフォンとは
5	ミキサーとは
6	ENG の音声の役割
7	ENG 音声の実習 1
8	ENG 音声の実習 2
9	ドラマの音声の役割
10	ドラマ鑑賞にて音声の収録ポイントを押さえる
11	ドラマの音声収録技術の実習
12	バラエティー番組の音声の仕事
13	音楽番組の音声の仕事
14	ポストプロダクションの音声業とは
15	期末試験
後期	
1	MA とは
2	パソコンの使用法の習得 1
3	パソコンの使用法の習得 2
4	ProTools のソフトの使用法の習得 1
5	ProTools のソフトの使用法の習得 2
6	ProTools のソフトの使用法の習得 3
7	ProTools のソフトの使用法の習得 4
8	ProTools のソフトの使用法の習得 5
9	ProTools のソフトの使用法の習得 6
10	ProTools のソフトの使用法の習得 7
11	ProTools のソフトの使用法の習得 8
12	ProTools のソフトの使用法の習得 9
13	ProTools のソフトの使用法の習得 10
14	MA の筆記試験
15	ProTools の実技試験

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	207	科 目 名	ノンリニア編集 I			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	金津義則			履修区分	講義と実習
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	必修
教 科 書	なし 講師自作のテキスト			教材・参考書			なし
成績評価	前後期期末試験50%、授業に於ける実技課題25%、授業への貢献度25%で評価						

1. 授業概要

講義では映像編集の基本的考え方や映像の表現方法を理解し、実技は編集操作と実践的は編集技術を身につける
--

2. 到達目標

編集を通してディレクターとしての映像演出の表現力と構成能力の向上及び創造力、感性を養うことを目標とする

3. 授業計画

前期	
1	講義&実技：リニア編集とノンリニア編集の違い、ノンリニア用語の習得、カラーバーの作成など
2	実技：ノンリニア編集機Premiere proの基本操作の練習
3	講義：タイムコードについて、オフラインとオンラインの違い、映像編集とは何かの基本的考え方
4	実技：Premiere proの基本操作、人物の基本編集、動く被写体（電車）の基本編集
5	実技：Premiere proの基本操作、人物映像の3つシーンの1つにしての基本編集
6	講義：編集の基本的な考え方、映像の下見の重要性と映像構成の考え方
7	実技：Premiere proの基本操作、風景の基本編集と音楽を入れてみる
8	実技：Premiere proの基本操作、風景の基本編集と音楽の音声レベルの調整
9	講義：編集の3要素（編集点、映像の選択、映像の長さ）とイマジナリーラインについて
10	実技：対談ものの基本編集及びイマジナリーラインを超えるにはどうすればよいか
11	実技：対談ものの基本編集及びイマジナリーラインを超えるにはどうすればよいか
12	講義：違和感の典型であるジャンプカットの是非について、主観映像と客観映像、アクション編集について
13	実技：観光地ものの基本編集とフェードイン、フェードアウトを学ぶ
14	講義：セリフの編集、マッチカットとは、4つの時間操作の効果など
15	講義：シーンの場面転換の仕方、モンタージュ理論について説明
後期	
1	実技：ナレーションのある編集とタイトルスーパーの練習
2	実技：ナレーションのある編集とタイトルスーパーの練習
3	実技：インタビュー編集の練習とタイトルスーパーの練習
4	実技：ピクチャーインピクチャー（画面の中に別画面を挿入）の練習
5	実技：スローモーションやフリーズ画面の時間操作
6	実技：映像の拡大と縮小、2面3面マルチを作成練習
7	実技：ナレーションと時間操作のある長尺編集をしてみる
8	実技：ナレーションと時間操作のある長尺編集をしてみる
9	実技：ナレーションと時間操作のある長尺編集をしてみる
10	実技：ワイプの種類の練習、拡大画面や縮小画面を動かす練習
11	実技：ナレーションと間と音楽のある長尺編集
12	実技：ナレーションと間と音楽のある長尺編集
13	実技：ナレーションと間と音楽のある長尺編集
14	実技：ナレーションと間と音楽のある長尺編集
15	実技：ナレーションと間と音楽のある長尺編集

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	208	科 目 名	デジタル映像制作		科目区分	非常勤	
科 目 群	専門	担当講師	大和 拓		履修区分	必修	
開講学年	1 年次	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし			教材・参考書 なし			
成績評価	試験 40%・平常点 60%						

1. 授業概要

<p>コンピューターを使って画像・映像処理をするための基礎知識を学習する。</p>

2. 到達目標

<p>主に Photoshop、Illustrator を使い実際に作品を作りながら、コンピューターの概念や基本操作を学びます。</p>
--

3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。パソコンの基礎知識。
2	Photoshop の基本操作解説。(写真の切り抜き)
3	Photoshop の基本操作解説続き。(写真の切り抜き)
4	Illustrator の基本操作解説。(簡単な図形を描く)
5	Illustrator の基本操作解説続き。(簡単な図形を描く)
6	Illustrator の基本操作解説続き。(簡単な図形を描く)
7	Photoshop と Illustrator を使って他己紹介。(レイアウトや文字の扱い)
8	Photoshop と Illustrator を使って他己紹介続き。(レイアウトや文字の扱い)
9	ドリンクボトルのラベル作り。(パスファインダーの使い方)
10	ドリンクボトルのラベル作り続き。(パスファインダーの使い方)
11	校舎案内図を作る。(グループワーク。仕様を共有する)
12	校舎案内図を作る続き。(グループワーク。仕様を共有する)
13	校舎案内図を作る続き。(グループワーク。仕様を共有する)
14	夏休みの絵日記。(レイアウトや文字の扱い2)
15	夏休みの絵日記続き。(レイアウトや文字の扱い2)
後期	
1	校舎案内図を作る続き。(グループワーク。仕様を共有する)
2	校舎案内図を作る続き。(グループワーク。仕様を共有する)
3	オーケストラについての説明チラシを作る。(複雑な図形を描く)
4	オーケストラについての説明チラシを作る続き。(複雑な図形を描く)
5	時計の文字盤を作る。(正確な図形を描く)
6	時計の文字盤を作る続き。(正確な図形を描く)
7	理想のリビングをデザインする。(空間デザインを意識した図を描く)
8	理想のリビングをデザインする続き。(空間デザインを意識した図を描く)
9	理想のリビングをデザインする続き。(空間デザインを意識した図を描く)
10	年賀状をデザインする。(アイコンのデザインをする)
11	地図を書く。(計算した表現をする)
12	地図を書く。(計算した表現をする)
13	架空のテレビ番組のタイトルを作る。(動画への変換を意識する)
14	架空のテレビ番組のタイトルを作る。(動画への変換を意識する)
15	AfterEffects の基本操作解説。

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学 科 名		
科目番号		科 目 名	テレビ制作入門		科目区分	専任	
科 目 群	専門	担当講師	小山 啓		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書				参考書			
成績評価	筆記試験 80% 授業貢献度 20%						

1. 授業概要

あらゆるジャンルのテレビ番組を最新の番組事情を伝え、番組制作に必要な知識を身につける。同時にプロフェッショナルとして、企画や現場に必要なマインドを育てる。

2. 到達目標

番組の作り手として分析し、企画につなげられることが出来る。

3. 授業計画

前期	
1	テレビ局は何をしているところ？～視聴率とは？どんな業界？他のメディアとの違いは？
2	ジャンルの特色～ドラマ・バラエティー・情報ワイド・報道・スポーツ・アニメ…
3	テレビ制作はチーム力だ！各部署の仕事を知り、協力する。
4	テレビが取り巻かれているもの～新しい時代のメディアとして
5	4月期の番組分析～編成とは
6	多様性の時代～人権への配慮・コンプライアンス
7	制作という仕事～番組作りの流れ
8	バラエティーの演出①（ドキュメントバラエティー）
9	バラエティーの演出②（スタジオバラエティー）
10	スポーツ番組の制作
11	報道番組の制作（取材における注意事項）
12	企画作り（リサーチとロケハン）
13	構成とは（作家論）
14	著作権と権利処理
15	試験（筆記）

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学 科 名	TVディレクター学科
科目番号		科 目 名	ドラマ講座		科目区分	実務経験教員
科 目 群	専 門	担当講師	倉田 貴也		履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態
教 科 書	なし			教材・参考書 必要時に講師作成のプリントを配布		
成績評価	出席率、授業態度、発言・提出物の採点、期末テストの得点					

1. 授業概要

テレビドラマの作り方の基本について学びます

2. 到達目標

視聴者、放送局、スポンサーに喜んでいただけるドラマの作り方、基礎用語を理解する

3. 授業計画

前期	
1	授業の進め方についての説明
2	スタッフ、キャストについて
3	なぜカットを割るのか カット割りの基本について①
4	なぜカットを割るのか カット割りの基本について①
5	企画の立て方、企画書の書き方①
6	企画の立て方、企画書の書き方②
7	脚本の書き方①
8	脚本の書き方②
9	撮影台本の読み方、書き方①
10	撮影台本の読み方、書き方②
11	スタジオ撮影、ロケーション撮影について
12	編集について
13	MAについて
14	テスト
15	テストの正解解説

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」				学科名	TVディレクター学科	
科目番号		科目名	エンタメ講座 I		科目区分	実務経験教員
科目群	専門	担当講師	倉田 貴也		履修区分	必修
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態
教科書	なし			教材・参考書 必要時に講師作成のプリントを配布		
成績評価	出席率、授業態度、提案や発言、提出物、期末テストの得点					

1. 授業概要

主にテレビ局が手掛けるエンタメについてそのマネタイズ、目指すところについて学びます

2. 到達目標

自分がやりたいだけ、好きなだけでなく万人に喜んでいただき収入を得る方法について学びます

3. 授業計画

前期	
1	授業の進め方について
2	エンターテインメントとは
3	映画とドラマの違い
4	劇場映画について
5	舞台、美術展について
6	エンターテインメントについての中間効果測定
7	効果測定の解説
8	アニメ、コミックスについて
9	企画の立て方①
10	企画の立て方②
11	プレゼンテーションの方法について①
12	プレゼンテーションの方法について②
13	著作権について
14	テスト
15	テストについての解説

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学科名	TVディレクター学科	
科目番号	211	科目名	文章講座		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	中井 信介		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教科書	なし			教材・参考書 プリント配布			
成績評価	出席状況、課題提出作文、						

1. 授業概要

企画書や構成、台本、広報資料などテレビの仕事をする上で人に読んでもらうための文章を書く機会は大変多く重要な能力である。就活でのエントリーシートや作文試験に焦点を合わせて、言いたいことをわかりやすく読み手に伝えるための文章を書く手法を習得する。

2. 到達目標

自分の言いたいことを文章で平易に分かりやすく読み手に伝えることの難しさを認識し、そのための最低限のスキルを身につける。

3. 授業計画

前期	
1	あなたのことを全くを知らない私に話してアピールして下さい①
2	あなたのことを全くを知らない私に話してアピールして下さい②
3	作文を書くにあたり考えてもらうこと①
4	作文を書くにあたり考えてもらうこと②
5	作文を書いてみる①「自分をPRして下さい」800字
6	作文講評
7	作文講評
8	作文講評
9	「学生時代に力を入れたこと」の書き方
10	作文を書いてみる②「学生時代に力を入れたこと」800字
11	作文講評
12	作文講評
13	作文講評
14	自分の恥ずかしいところを書くことで魅力的な作文を書く方法。
15	履歴書の書き方
後期	
1	「私の失敗体験」の書き方について。
2	作文を書いてみる③「私の失敗体験」800字。
3	作文講評
4	作文講評
5	作文講評
6	抽象的な題の作文に書き方
7	作文を書いてみる④「涙」800字。
8	作文講評
9	作文講評
10	作文講評
11	作文を書いてみる⑤「家族」800字
12	作文講評
13	作文を書いてみる⑥「自分をPRして下さい」800字

14	エントリーシートについて①
15	エントリーシートについて②

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学科名	TVディレクター学科	
科目番号	212	科目名	表現力養成講座 I		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	小山 啓		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書				教材・参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 50%、実技試験（期末） 50%						

1. 授業概要

テレビ制作の仕事に最も必要とされるコミュニケーション能力を発声から、ワークショップで開発する。

2. 到達目標

相手に届く声を出せ、全身の表現で、より良いコミュニケーションを図れるようにする。

3. 授業計画

前期	
1	いい声でしゃべろう！発声訓練
2	自分を知ろう！身も心も緊張と解放
3	アイスブレイク・仲間と目標達成に向かうためのゲーム
4	他人に何かを説明しよう！伝える・説明する・インスパイアする
5	身振り手振りも表現の内【ジェスチャー】
6	早口言葉とアナウンス
7	ディベート
8	グループに伝えよう！～発表の仕方
9	朗読しよう！
10	文章で表現しよう！
11	台本を読んでみよう！
12	台本を演じてみよう！
13	エチュード（即興劇）
14	紙芝居
15	実技試験【発声・朗読】

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	213	科 目 名	インターンシップ		科目区分	実務経験教員	
科 目 群	専門	担当講師	各テレビ番組制作会社		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	実習
教科書	なし			教材・参考書 なし			
成績評価	研修業務に対する取り組み方など						

1. 授業概要

実際の放送番組の制作現場のスタッフの一人としてとして、2週間から1か月程度の間、制作会社で就業体験研修する。今年度のインターンシップ協力制作会社は未定。昨年度協力制作会社は計12社。

2. 到達目標

一番組スタッフとして、学校では学べない実際の番組制作現場の仕事や空気を実感し、テレビ番組制作の実際を把握する。

3. 授業計画

後期	
1	【研修内容】 研修先 映像制作関連企業 研修期間 14日間を基本として最大30日間 研修時間 8:00~17:00 (受入れ企業・制作番組による) 8時間×14日間 単位認定に係わる認定時間 研修時間 120時間以上 学校としての成績評価 研修業務に対する取り組み方など 学校としての認定単位 4単位
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	214	科 目 名	番組制作実習Ⅱ		科目区分	非常勤
科 目 群	専門	担当講師	雨宮秀彦(日本テレビ情報制作局)		履修区分	必修

開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	実習
教科書	なし			教材・参考書	必要時に講師作成のプリントを配布		
成績評価	平常点や授業への貢献度 100%						

1. 授業概要

学生自身の番組企画を少人数で制作する体験を通じて、制作・演出の基本的知識を身につける。

2. 到達目標

企画書、構成台本、収録、編集の4項目において、その基本技能を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	講義「テレビ番組制作とは何か？」
2	講義「エンターテインメントの基本構造について」
3	実習「企画の立て方および企画書の書き方①」
4	実習「企画の立て方および企画書の書き方②」
5	実習「構成の作り方および構成台本の書き方①」
6	実習「構成の作り方および構成台本の書き方②」
7	実習「ロケの仕方①」
8	実習「ロケの仕方②」
9	実習「編集の仕方①」
10	実習「編集の仕方②」
11	実習「MAの仕方」
12	実習「スタジオ台本の書き方」
13	実習「打ち合わせの進め方」
14	実習「スタジオ収録の仕方」
15	講義「番組制作上の注意点」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」				学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	214	科 目 名	番組制作実習Ⅱ	科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	雨宮秀彦(日本テレビ情報制作局)	履修区分	必修
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	4
教 科 書	なし		教材・参考書 必要時に講師作成のプリントを配布		
成績評価	平常点や授業への貢献度 100%				

1. 授業概要

学生自身の番組企画を少人数で制作する体験を通じて、制作・演出の基本的知識を身につける。

2. 到達目標

企画書、構成台本、収録、編集の4項目において、その基本技能を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	講義「テレビ番組制作とは何か？」
2	講義「エンターテインメントの基本構造について」
3	実習「企画の立て方および企画書の書き方①」
4	実習「企画の立て方および企画書の書き方②」
5	実習「構成の作り方および構成台本の書き方①」
6	実習「構成の作り方および構成台本の書き方②」
7	実習「ロケの仕方①」
8	実習「ロケの仕方②」
9	実習「編集の仕方①」
10	実習「編集の仕方②」
11	実習「MAの仕方」
12	実習「スタジオ台本の書き方」
13	実習「打ち合わせの進め方」
14	実習「スタジオ収録の仕方」
15	講義「番組制作上の注意点」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」				学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	215	科 目 名	ドラマ制作実習	科目区分	実務教員
科 目 群	専門	担当講師	小山 啓	履修区分	必修
開講学年	2年次	開講学期	通年	単位数	12
教 科 書				授業形態	講義
成績評価	平常点や授業への貢献度 50%、制作番組 50%				

1. 授業概要

ドラマ制作を、企画から台本づくり、撮影、編集と、生徒自身が作業をして体験的に学ぶ。この授業では教員の実務経験が活かされ、ドラマ制作の現場での用語や手法など、仕事で身についた生きた知識を教えることができる。日本テレビの中も入れるので、見学やインターンシップの段取りなども可能で、学生が本物を目の当たりにして学べる。かつての仕事仲間から、最新の情報を得て、授業に反映させている。

2. 到達目標

ドラマ制作が、出来るようになる。バラエティーなどにも応用できるドラマ技能を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	ドラマとは？概要説明～ミニドラマ（1カット）を作ってみよう！
2	【続き】ミニドラマ（1カット）を作ってみよう！
3	ミニドラマ（1カット）ふりかえり～カットとは？
4	「企画」と「ストーリー」とは
5	脚本をしっかり作ってミニドラマを作ろう！
6	【続き】脚本をしっかり作ってミニドラマを作ろう！①
7	【続き】脚本をしっかり作ってミニドラマを作ろう！②
8	ミニドラマふりかえり～演技と演出
9	演技をしっかりつけてミニドラマを作ろう！
10	【続き】演技をしっかりつけてミニドラマを作ろう！①
11	【続き】演技をしっかりつけてミニドラマを作ろう！②
12	【続き】演技をしっかりつけてミニドラマを作ろう！③
13	【続き】演技をしっかりつけてミニドラマを作ろう！④
14	【続き】演技をしっかりつけてミニドラマを作ろう！⑤
15	【続き】演技をしっかりつけてミニドラマを作ろう！⑥ふりかえり
後期	
1	ドラマの企画とは？
2	企画書・脚本の書き方
3	ドラマのジャンルについて
4	演出。プロデュースの役割
5	長尺ドラマを作ろう！
6	【続き】長尺ドラマを作ろう！①
7	【続き】長尺ドラマを作ろう！②
8	【続き】長尺ドラマを作ろう！③
9	【続き】長尺ドラマを作ろう！④
10	【続き】長尺ドラマを作ろう！⑤
11	【続き】長尺ドラマを作ろう！⑥
12	【続き】長尺ドラマを作ろう！⑦
13	【続き】長尺ドラマを作ろう！⑧

14	【続き】長尺ドラマを作ろう！⑨
15	ふりかえり

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」				学科名	TVディレクター学科
科目番号	218	科目名	テレビ音声講座Ⅱ	科目区分	非常勤
科目群	専門	担当講師	荒井 吉春	履修区分	必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	8
教科書	なし		教材・参考書 無し		
成績評価	期末試験 70% 出席率 30% 授業の理解度により加味あり				

1. 授業概要

ポスプロ業務の MA 部門の機材の扱い方や仕事内容を習得する。

2. 到達目標

パソコンの扱い方、ソフト操作を習得する。MA における音処理を理解する

3. 授業計画

前期	
1	30 秒 CM 作成 1
2	30 秒 CM 作成 2
3	30 秒 CM 作成 3
4	30 秒 CM 編集 1
5	30 秒 CM 選曲、効果音選び
6	30 秒 CM ナレーション録り
7	30 秒 CM 完成の為のミックス作業
8	1 分番組の選曲、効果音選び
9	1 分番組のナレーション録り
10	1 分番組の完成の為のミックス作業
11	実技試験用の操作方法の習得 1
12	実技試験用の操作方法の習得 2
13	実技試験用の操作方法の習得 3
14	実技試験 1
15	実技試験 2
後期	
1	4 分番組の選曲、効果音選び 1
2	4 分番組の選曲、効果音選び 2
3	4 分番組のナレーション録り 1
4	4 分番組のナレーション録り 2
5	4 分番組の完成の為のミックス作業
6	ProTools のソフトの使用方法の習得 1
7	ProTools のソフトの使用方法の習得 2
8	ProTools のソフトの使用方法の習得 3
9	ProTools のソフトの使用方法の習得 4
10	卒業制作の選曲、効果音選び 1
11	卒業制作の選曲、効果音選び 2
12	卒業制作のか完成品作り 1
13	卒業制作のか完成品作り 2
14	卒業制作のか完成品作り 3
15	卒業制作のか完成品作り 4

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	216	科 目 名	撮影技術講座Ⅱ		科目区分	実務経験教員	
科 目 群	専門	担当講師	加藤・大橋（ファーストショット）		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	通期	単位数	12	授業形態	実習
教科書	なし			教材・参考書 必要時に講師作成のレジュメ			
成績評価	筆記試験・実技試験						

1. 授業概要

ADとして、ロケ取材でのデジカム撮影技術を身に付ける。

2. 到達目標

ADとして現場配属後、デジカムなどで一人でも街録なの取材撮影ができるスキルを習得する。

3. 授業計画

前期	
1	デジタルカメラでの自己紹介の撮影（ワンショットインタビュー）①
2	デジタルカメラでの自己紹介の撮影（ワンショットインタビュー）②
3	ファーストカットを撮影するまでの準備①
4	ファーストカットを撮影するまでの準備②
5	人物撮影サイズ、風景などの撮影サイズ習得
6	フォーカス、ズーム、パン等のカメラの基本操作
7	ハンディ撮影によるカメラ撮影技術
8	音声機材の取り扱い①
9	音声機材の取り扱い②
10	模擬記者会見撮影
11	カメラワークまとめ撮影課題
12	カメラワークまとめ撮影課題/プレビュー
13	実技試験・筆記試験のテスト対策（ファーストショット撮影までの準備）
14	実技試験・筆記試験のテスト対策（三脚、音声、照明のセッティング）
15	実技試験・筆記試験のテスト対策（撮影開始までの準備手順）
後期	
1	インタビュー撮影 街録の方法～実践
2	インタビュー撮影 実践
3	スタジオインタビュー（三点照明・收音機器操作）
4	スタジオインタビュー（イマジナリーライン、編集を考えた撮影）
5	テーマ撮影（三田の風景）
6	テーマ撮影（三田の風景～プレビュー）
7	ハンディ撮影によるカメラ撮影技術
8	撮影照明基礎（三点照明、LEDライト、物撮り）
9	撮影照明基礎（接写、物撮り）
10	テーマ撮影（秋）
11	テーマ撮影（秋～プレビュー）
12	撮影技術まとめインタビュー（機材準備～撮影～片付け）
13	実技試験・筆記試験のテスト対策（ファーストショット撮影までの準備）
14	実技試験・筆記試験のテスト対策（三脚、音声、照明のセッティング）
15	実技試験・筆記試験のテスト対策（撮影開始までの準備手順）

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	218	科 目 名	ノンリニア編集Ⅱ		科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	谷崎 健一		履修区分	必修
開講学年	2年次	開講学期	通年	単位数	授業形態	必修
教 科 書	なし			教材・参考書 講師作成のプリントを配布		
成績評価	試験 50% (前期・後期) 映像作品提出 50% (学年末)					

1. 授業概要

1年次に習得した編集知識を現役エディターによる生の目線により実践に近い状況をシミュレーションし、制作行程の一部である編集行程を身に付ける。

2. 到達目標

演出家としてスタートする際、編集行程において即戦力となる人材を育てる。

さまざまな編集ソフトへの応用力を身に付ける

編集による演出効果を身に付ける

3. 授業計画

前期	
1	1年時 履修部分の確認 復習
2	実際の編集テクニック 有効な手段を重点的に
3	実地作業のための材料 収録
4	収録素材を活用したキャプチャー作業実践 TAPE 素材のケース
5	収録素材を活用したキャプチャー作業実践メディアファイル素材のケース
6	オフライン実践 カット編集における演出効果を講義しながら。
7	オフライン実践 マルチカメラ編集における演出効果を講義しながら。
8	オフライン実践 クロマキー合成の編集における演出効果、また撮影時の注意点。
9	VTR 編集とノンリニア編集の違い メリットとデメリット テレビ制作現場の現状
10	メディア管理について。TAPE などの寿命 SD カードや HD の寿命と保管方法
11	特殊効果（爆破）などの合成を想定した収録のテクニックと合成編集のノウハウ
12	テロップ作成方法と主要ソフトの特色と現状（DEKO フォトショップ）
13	AV I D D Sスタジオを利用してノンリニア編集ワークフローの紹介 そして演出家が指揮する方法実践 編集スタジオを実際に利用し後期授業の理解度を高める
14	実地作業における個々の作品の発表と意見交換
15	実地作業における個々の作品の発表と意見交換 一つのアイデアとして私が手を加える
後期	
1	DVD Bluray 作品、またはスマホ用の動画コンテンツ作品のためのコツ
2	フォント利用 フリー素材利用における著作権等の注意点
3	編集時に露見するトラブル等、事例を紹介
4	タイムコードを活用した編集術
5	音楽作品の編集テクニック
6	ドラマ作品の編集テクニック 実践
7	バラエティー作品の編集テクニック 実践
8	4K 8K 開発の現状 展望
9	VTR 編集の方法
10	OMF EDLAAF AFE MX Fデータの書出し
11	ファイナルカットまたはプレミアを利用した編集テクニック キャプチャー編
12	ファイナルカットまたはプレミアを利用した編集テクニック 編集実践

1 3	卒業制作作品 制作過程でのフォローと対応策
1 4	卒業制作作品 制作過程での予測できるトラブル等の対処方法
1 5	エディウス リゾルブ等 ノンリニア編集ソフトの特徴を解説

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	220	科 目 名	就職対策講座		科目区分	専任	
科 目 群	専門	担当講師	小山 啓		履修区分	必修	
開講学年	2年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書				教材・参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 50%、実技試験（期末）50%						

1. 授業概要

就職活動に必要な、自己紹介・エントリーシートの書き方・面接の心得・一般常識などを学ぶ。

2. 到達目標

採用試験に自信を持って臨めるようにトレーニングして、就職活動を無事、乗り切る。

3. 授業計画

前期	
1	就職の心構え・段取り
2	エントリーシートの書き方
3	自己分析
4	他己分析
5	自己アピール材料づくり
6	自己紹介（以下、適宜回数）
7	面接対策①
8	面接対策②
9	筆記試験対策
10	論文対策
11	クリエイティブ試験対策
12	プレゼンテーション対策
13	グループ討論対策
14	社会人の教養（心構え・マナー・知識）
15	テスト（プレゼンテーション形式）

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	212	科 目 名	表現力養成講座Ⅱ			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	小山 啓			履修区分	必修
開講学年	1年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書				教材・参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 50%、実技試験（期末） 50%						

1. 授業概要

テレビ制作の仕事に最も必要とされるコミュニケーション能力を発声から、ワークショップで開発する。

2. 到達目標

相手に届く声を出せ、全身の表現で、より良いコミュニケーションを図れるようにする。

3. 授業計画

前期	
1	いい声でしゃべろう！発声訓練
2	自分を知ろう！身も心も緊張と解放
3	アイスブレイク・仲間と目標達成に向かうためのゲーム
4	他人に何かを説明しよう！伝える・説明する・インスパイアする
5	身振り手振りも表現の内【ジェスチャー】
6	早口言葉とアナウンス
7	ディベート
8	グループに伝えよう！～発表の仕方
9	朗読しよう！
10	文章で表現しよう！
11	台本を読んでみよう！
12	台本を演じてみよう！
13	エチュード（即興劇）
14	紙芝居
15	実技試験【発声・朗読】

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	222	科 目 名	クリエイター講座		科目区分	専任	
科 目 群	専門	担当講師	小山 啓		履修区分	必修	
開講学年	2年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書				教材・参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 50%、筆記試験（期末） 50%						

1. 授業概要

番組制作に必要な常識や、社会人として身につけるべきルールやマナーなどを学ぶ。

2. 到達目標

テレビ制作者として、社会人として、常識を持って行動できるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	社会人としてのクリエイター
2	プロデューサーとディレクター
3	一般常識と教養が必要な理由～マナー入門①
4	冠婚葬祭やつきあいも仕事のうち～マナー入門②
5	インターネット社会とこれからのテレビ
6	視聴率とは～その仕組みと番組作り
7	予算と効率を大切に
8	仕事とは気遣いだ！
9	プレゼン力で決まる企画
10	著作権のおさらい
11	コンプライアンスのおさらい
12	チームプレーとリーダーシップ
13	会社員としての心構えと知識
14	クリエイティブ精神とは
15	筆記テスト

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」				学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	223	科 目 名	エンタメ講座		科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	倉田 貴也		履修区分	必修
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態
教 科 書	なし		教材・参考書 必要時に講師作成のプリントを配布			
成績評価	出席率、授業態度、提案や発言、提出物、期末テストの得点					

1. 授業概要

主にテレビ局が手掛けるエンタメについてそのマネタイズ、目指すところについて学びます

2. 到達目標

自分がやりたいだけ、好きなだけでなく万人に喜んでいただき収入を得る方法について学びます

3. 授業計画

後期	
1	授業の進め方について
2	エンターテイメントとは
3	映画とドラマの違い
4	劇場映画について
5	舞台、美術展について
6	エンターテイメントについての中間効果測定
7	効果測定の解説
8	アニメ、コミックスについて
9	企画の立て方①
10	企画の立て方②
11	プレゼンテーションの方法について①
12	プレゼンテーションの方法について②
13	著作権について
14	テスト
15	テストについての解説

科目の教育目標・授業計画 「平成 31 年度」

学 科 名 TVディレクター学科

科目番号	222	科 目 名	卒業制作		科目区分	専任	
科 目 群	専門	担当講師	雨宮秀彦(日本テレビ情報制作局)		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし			教材・参考書 必要時に講師作成のプリントを配布			
成績評価	平常点や授業への貢献度 100%						

1. 授業概要

学生自身の番組企画を大人数で制作する体験を通じて、制作・演出の応用的知識を身につける。

2. 到達目標

企画書、構成台本、収録、編集の4項目において、より高いレベルの基本技能を習得する。加えて、共同作業の基本的な心構え、コンプライアンス意識、コスト意識を身につける。

3. 授業計画

後期	
1	講義「共同作業の仕方・心構えについて」
2	講義「コンプライアンスとコスト意識について」
3	実習「ヒットする企画の立て方および企画書の書き方」
4	実習「優れた構成の作り方および構成台本の書き方」
5	実習「効果的なロケの仕方①」
6	実習「効果的なロケの仕方②」
7	実習「高度な編集・MAの仕方①」
8	実習「高度な編集・MAの仕方②」
9	実習「質の高いスタジオ台本の書き方・打ち合わせの進め方」
10	実習「質の高いスタジオ収録の仕方」
11	実習「本編編集オフラインの仕方①」
12	実習「本編編集オフラインの仕方②」
13	実習「編集オペレーターとのコミュニケーション方法」
14	実習「ナレーション収録・MAにおける作業手順」
15	講義「卒業制作の総評および映像業界の今後について」